

1. 修正する設問

	前回の設問概要	変更案	備考
表紙		記載内容を短く修正、回答期限を追記	
1 ページ		イラスト図示を修正、用語説明・施設一覧を整理	
問 1 (1)	6 年生以下の人数	「子どもの人数」に修正	
問 1 (2)	6 年生以下の年齢ごと人数	「中学生以上」の項目を追加	
問 1 (3)	末子の生年月	(2)で学年齢を聞いており、不要のため削除	
問 1 (4)		回答者の年齢(年代)を追記	
問 2 - 3 問 2 - 6	父母の出勤・帰宅時間	ニーズ量算出には不要のため、削除 (前回、就労時間の下限を決めるために独自調査した項目)	
問 5	現在勤務企業での育児休業制度の有無	育児介護休業法に定められた制度のため、削除 また、問 6-1 でも状況は把握できる	
問 6 - 4・5	短時間勤務制度の利用・理由	ニーズ量算出には不要。育児休業制度の内、短時間勤務制度に特化した施策推進も想定していないため、削除	
問 6 - 3	(育児休業後の復帰者) 3 歳までの育児休業取得希望	第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方について (H30.8.24) 0 歳児保育の量の見込みにおいて「1 年超の育児休業取得の希望」を考慮	いずれかの要因により何年まで取得するかを問う設問 (ニーズ量補正) ⇒統合 J 1
問 6 - 6	(育児休業中の者) 1 歳までの育児休業の取得希望		
追加 J 1 1・2・3			
※「育児休業の取得状況」「保育施設の利用意向」のいずれを主眼に置くか選択が必要			
問 7		算出等の考え方について (H30.8.24) による追加 「小規模な保育施設」を追加	
	項目 13~16	幼保施設とその他に分割して、その他は問 7-2 と連番にした方が分かりやすいため、削除 (分割)	
問 7 - 1	幼保の利用状況・希望	幼保のニーズ量の単位は、人日ではなく人数のため、利用日数・時間数は削除	
	来年度の利用	今年度の理想と同じ意向確認のため、削除	
追加 7 1		問 7 から分割した項目を、追加	
問 7-2	来年度の利用	今年度の理想と同じ意向確認のため、削除	

	前回の設問概要	変更案	備考
問 8	幼保施設の希望場所	「1. 現在と同じ～」は、「1. 居住地の～」に修正	
		「15. わからない」は、「どこでも良い (特に希望はない)」に修正	
問 9	来年度の利用	今年度の理想と同じ意向確認のため、削除	
	利用希望 (1月当たり日数、1日当たり時間)	自由記載では細かいため、国モデルと同様「利用しない、ほぼ毎週、月1～2回利用」の選択肢に、修正	
	日曜日と祝日の利用意向	日曜日と祝日のニーズ量把握は不要のため、削除	
問 10	長期預かり保育	別途利用料がかかることを追記 (問 11-2 病児・病後児の記述同様)	
問 14	泊りがけで預けた日数	宿泊数に修正	
問 15	放課後児童クラブの来年度の利用希望	国モデルと同様、低学年、高学年になった際の利用希望の設問に修正	
		小学生がいる世帯は、小学生が低学年、高学年になった際の利用希望の設問を追加	
問 16	子ども教室の参加意向	国モデルと同様、放課後の過ごし方全般についての選択肢 (現状、低学年、高学年の3種) に修正	
問 17	支援の利用状況・意向	子育て世代包括支援センター等を追加、修正	
問 18	相談相手	子育て世代包括支援センターを追加 (子育て支援機関を削除)	
		「相談すべき人がいない」を「相談していない」に修正	
問 19	相談内容	各機関にて相談内容は分析しているため、相談希望 (問 20) に差替え	
追加 19		問 18「相談できない」、問 19「相談したいとは思わない」と答えた方が、その理由を自由記載で記入	
問 21	保育内容の希望	各園の評議会でも調査しているため、削除	
問 23	子どもの成長に重要視する点	問 24の子育てしやすいまちへの希望と近い設問のため、削除	

※重点施策の指標のために、削除できない設問

問 1 (7)	子育てしている人	重点施策 (2) の評価指標のため、削除不可
問 1 8	相談している人・機関	重点施策 (1) の評価指標のため、削除不可
問 2 2	子育て環境の評価	重点施策 (3) の評価指標のため、削除不可

## 2. 新たに追加する設問

⇒国通知「算出等の考え方」、課題整理等から追加してはどうか

	設問概要	備考
問A	日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいるか	一時預かり等のニーズ量を補正するために追加
問B	特に幼稚園の利用を強く希望するか	算出等の考え方について(H30.8.24)による追加
問C 課題④	(9) 同居の世帯人員 (10) 世帯全体の収入 (11) 暮らしの状況	経済的困窮世帯の把握
問D 課題②⑤	子育てを楽しめるか	子育て感の把握
問E 課題④⑤	虐待に対する言動の兆候があるか	虐待兆候の把握
問F 課題④⑤	日常生活で孤立感を感じるか	孤立感の把握
問G 課題②⑤	地域の人から見守られているか	地域との関係性の把握 ⇒評価指標にしてはどうか。
問H 課題②⑤	地域・近所と関わっているか	地域との関係性の把握
問I 課題⑤	地域に求めることは何か	地域に求めることの把握

## 3. 職場復帰に関する検討すべき設問

⇒案1「育児休業の取得状況を主眼におく」、案2「保育施設の利用意向を主眼におく」

案1	設問概要	備考
問6-3	3歳までの育児休業取得希望	(育児休業後の復帰者)
問6-6	1歳までの育児休業の取得希望	(育児休業中の者)
問J-1	育児休業から職場に復帰したタイミング	算出等の考え方について(H30.8.24)による追加(0歳児保育のニーズ量を補正するため)
問J-2	職場復帰した実際の時期	
問J-3	希望の時期に職場復帰しなかった理由	

案2	設問概要	備考
統合J <sup>1</sup> 統合J <sup>1</sup> -1	問6-3、6-6、問J-1・2・3を統合する設問	保育施設のニーズ量を補正するための設問として統合